



UBEマシナリーグループは、新たに制定したパーパス「地球環境に配慮し、お客様の求める価値を追求し続けることで、来たるべき社会の実現に貢献する」に基づいて事業活動を行います。

長期ビジョン

自立性と競争力を高めながら収益基盤の強化を進め、事業価値の向上を追求  
目指す姿:ブランド力のある製品とサービスで顧客に貢献

- マーケットニーズを実現する製品を継続的に開発
- ICTやAIを活用したサービスをグローバルに提供し、アフターサービスにおけるDX化を実現

主要製品・事業

- 成形機 (ダイカストマシン、押出プレス、射出成形機)
- 産業機械 (窯業機、粉砕機、運搬機、除塵機、破砕機、化学機器)、橋梁、グラブバケット
- アフターサービス
- 製鋼品 (ビレット、鋳造品)
- 制御基板

中期経営計画における事業方針

自動車のxEV化やカーボンニュートラルなど、グローバルに拡大する市場ニーズの取り込みにより製品事業の収益向上を目指すとともに、提案型メ

ニュー、他社製品への展開によりサービス事業の拡充を目指す。

また、UBEマシナリーグループとしてコーポレート・ガバナンス体制の強化を推進し、自立した事業運営体制を確立する。

数値目標 (億円)

年度	2022		2023		2024
	計画	実績	計画	予想	計画
売上高	1,060	969	980	1,085	1,000
営業利益	50	52	55	60	60

2030年度に向けた成長戦略

成形機事業

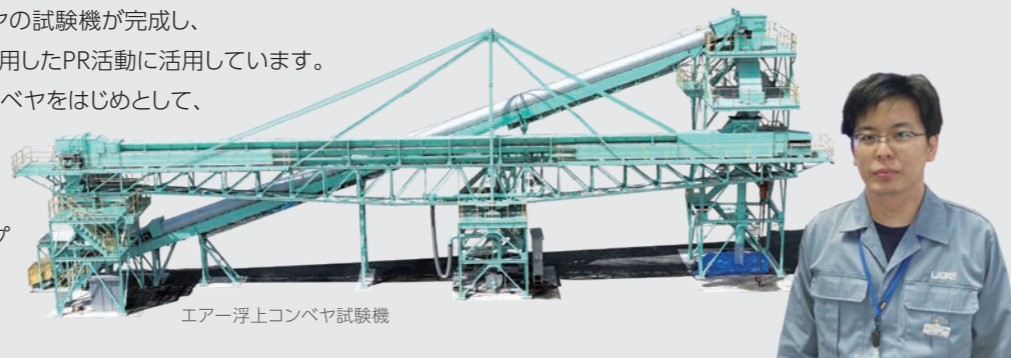
ダイカストマシンでは、自動車のxEV化に伴うエンジン・ミッション部品に替わる電池ケース類やボディ・シャシー等の新たな自動車の軽量化部品を低コストで生産可能な設備やプロセスを開発し、お客様に提供することで収益拡大を図ります。射出成形機では、カーボンニュートラルや循環型社会に対応した新製品や新しい射出成形プロセッシングの創出を行うとともに、環境貢献型の新素材に対するアプローチを推進します。中国市場では、従来の射出成形機に加えて

社員による強み紹介

コンベヤやクレーンなどに代表される搬送設備など多種多様な機種設計を担当しています。

このたび、当社構内に新型エア浮上コンベヤの試験機が完成し、お客様のニーズに沿った仕様提案や実機を使用したPR活動に活用しています。今後も環境負荷低減に有効なエア浮上コンベヤをはじめとして、お客様のニーズに応える製品・サービスを継続的に提供し続けます。

産機事業本部 運搬・破砕技術部 運搬機グループ  
川崎 友裕  
担当製品: 運搬機



エア浮上コンベヤ試験機

SWOT分析

強み

- 自動車や電力、セメント、製鉄等の基幹産業に多数の納入実績があり、お客様より高く評価されている
- 国内外の多くの拠点により、開発からアフターサービスに至るまで、多様なお客様のニーズに迅速に応えることができる
- 国内有数の大型加工設備を有し、熟練した技術・技能者を揃え、お客様の信頼に応えるモノづくりを実現している

機会

- カーボンニュートラルや製品リサイクルなど環境貢献への社会全体の取り組みが加速している
- 自動車の電動化、軽量化についてお客様の技術ニーズ・ご要望が多様化している
- グローバル、他社製品など幅広い市場で、さまざまなサービス・サポートが求められている

弱み(とその対策)

- 多種多様な製品を提供している一方で、各製品の事業規模が小さく、景気の変動に左右されやすい  
対策: 今後伸長・成長が期待できる環境分野などに向けた技術開発・市場開拓を推し進め、アライアンスも視野に景気に左右されないコア事業の創成に注力する

脅威(とその対策)

- カーボンニュートラルやDXなどの分野で技術開発が進む中、製品価値や技術ニーズ要求への対応が遅れ、販売低迷など企業価値への悪影響が懸念される  
対策: お客様などからタイムリーな情報収集を行い、技術開発や体制整備を推し進めていく
- 原材料価格の高騰や電気部品の長納期化などによる価格面、納期面での競争激化やお客様の設備投資判断の遅れなどの影響が考えられる  
対策: 製品のコストダウン、リードタイムの短縮や政府補助金活用などの提案を行い、ビジネスチャンスを実践につかむ



射出成形機 1300emⅢ

大型ダイカストマシンの現地生産体制を強化して収益拡大に注力するとともに、成長が期待されるインド市場では現地代理店を活用して拡販を図り、ブランドイメージの構築を図ります。また、ダウンタイムをゼロにし、予防保全やトラブル発生時の迅速な解決を実現するためのICTメニューを充実させます。

産機事業

カーボンニュートラルなど環境関連市場ニーズを実現する製品やサービスの提供により事業拡大を図ります。具体的には、バイオマス燃料搬送設備、洋上風力発電設備、アンモニア関連設備市場への参入といった新しいエネルギーニーズの取り込みと拡販に注力します。また、橋梁では都市部などの渋滞緩和や老朽化更新により社会インフラ整備に貢献します。

アフターサービス

既設の設備に対するお客様の要望に応じて、制御装置のリニューアルを中心としつつも最新の技術に

より設備の長寿命化と性能向上に努めることで付加価値を向上させ、アフターサービスの拡大を図ります。また、人員リソースの柔軟な配分を行い、お客様のニーズに対してこれまで以上に迅速に対応できる体制を構築します。

製鋼事業

強みである特殊鋼種・特殊サイズのビレットと大型鋳鋼品をともに製造できる生産能力を活かしながら、量から質への事業構造への転換を継続し、安定した利益体質を目指すとともにさらに環境リサイクル事業を利益創出の第三の柱として拡大を図ります。

サステナビリティ関連の取り組み

従来から取り組んでいる省エネルギーに資する設備およびサービス商品の開発と市場への供給、お客様のリサイクル材料使用率を向上させるプロセス・設備開発の取り組みを継続します。製鋼事業ではスクラップを再び鋼に蘇らせるリサイクルおよび医療・産業廃棄物の熔融無害化処理を通じて資源循環型産業に取り組み、地域・社会に貢献します。